

島根県産の苔類・ツノゴケ類について

下瀬 敏*

Hepaticae and Anthocerototae in Shimane Prefecture

Satoshi Shimose

キーワード：苔類、ツノゴケ類、島根県、蘚苔類

はじめに

島根大学教授・齋藤真太郎先生の指導を受け、顕微鏡下のコケの姿に魅せられて「苔類の無性芽や胞子発芽」を課題として、県内に育つ苔類の調査を進めてきた。採集苔は修猷館高校教諭の尼川大録博士の同定を受けた。蘚苔類の服部植物研究所の要望もあって島根の苔類標本を送り、同所の水谷正美博士の同定も受けた。また、県内産のハネゴケ科の数種を国立科学博物館の井上浩博士に、コヤバネゴケ属の疑問種等は奈良教育大学教授の北川尚史博士の同定を受けた。県内産の研究資料として「隠岐諸島苔類の植物地理学的研究」(井上, 1985) や「大万木山産の蘚苔類について」(岡本, 1975) がある。いずれも貴重な資料で引用させて頂いた。

平成14年度「しまねレッドデータブック」改訂に当たり、新たに蘚苔類も調査対象となり絶滅危惧種の選定に合わせて県内の苔類の調査がおこなわれた。今後、島根の苔類相が一層明確になってくることを期待する。

凡例

本目録は、県内で確認されている苔類・ツノゴケ類の種類を記したものである。各種の中に記載されている項目は以下のとおり。

[分布]：一般的な分布範囲：岩月編（2001）による。

[県内分布]：島根県内で分布が確認されている地域

[備考]：原糸体の状況、胞子・無性芽培養の状況。「百科事典」の記載がある種は、島根県百科事典に記載がある種類を示す。

また、科名末尾の数字は日本産の属数と、属名末尾の括弧内の数字は、分子が島根県で現在明らかとなっている種数、分母が国内で確認されている種数を示す。

なお、目名、科名の順序と名称、種名および学名は原則として岩月編（2001）によった。

島根県の苔類・ツノゴケ類目録

ウロコゴケ目 JUNGERMANNIALES

マツバウロコゴケ科 (1/2属)

マツバウロコゴケ属 (1/2種)

チャボマツバウロコゴケ *Blepharostoma minus*



Fig.1 チャボマツバウロコゴケ (拡大)

* 島根植物研究会、〒690-0015 島根県松江市上乃木487

Horik. (Fig.1: 筒状のものは花被, 華葉)

[分布] 北海道～琉球

[県内分布] 地上, やや稀, 隠岐, 松江, 鬼の舌震,
鰐淵寺, 立久恵峠, 千丈渓, 六日市

[備考] 百科事典(下 p93)

ムクムクゴケ科 (1/1属)

ムクムクゴケ属 (1/1種)

ムクムクゴケ *Trichocolea tomentella* (Ehrh.)
Dumort.

[分布] 本州～琉球, 北半球

[県内分布] 產地流辺の地上, 岩上, やや稀, 隠岐,
八雲, 鬼の舌震, 六日市, 匹見(畑山)

[備考] 百科事典(下 p661)

ムチゴケ科 (3/5属)

スギバゴケ属 (1/6種)

スギバゴケ *Lepidozia vitrea* Steph.

[分布] 本州～琉球, 東アジア

[県内分布] 県内各地普通, 千丈渓, 断魚渓など

[備考] 百科事典(上 p886)

コスギバゴケ属 (1/3種)

コスギバゴケ *Kurzia makinoana* (Steph.) Geolle.

[分布] 北海道～琉球, 東アジア

[県内分布] 山地, 樹幹, 岩上, やや稀, 隠岐, 鬼の
舌震, 千丈渓, 六日市

[備考] 胞子培養(六日市)

ムチゴケ属 (3/15種)

ムチゴケ *Bazzania pompeana* (Sande Lac.) Mitt.

[分布] 本州～琉球, 東アジア

[県内分布] 山地, 岩上, やや普通, 隠岐, 千丈渓

[備考] 百科事典(上 p663), 匹見峠の「カサゴケ
の場」

コムチゴケ(シロムチゴケ) *B. tridens* (Reinw.,
Blume & Nees) Trevis.

[分布] 本州～琉球, 小笠原, 東アジア～東南アジア
[県内分布] 山地, 平地, 岩, 地上, 隠岐, 松江, 千丈渓

タマゴバムチゴケ *B. denudata* (Torr. ex Lindenb.)
Trevis.

[分布] 北海道～九州, 北半球冷温帶

[県内分布] 落葉林縁, 岩上, 稀, 奥出雲, 鬼の舌震

ツキヌキゴケ科 (2/3属)

ツキヌキゴケ属 (3/15種)

チャボホラゴケモドキ *Calypogeia arguta* Nees &
Mont.

[分布] 北海道～琉球, 小笠原, 北半球

[県内分布] 低地～山地の湿土上, やや稀, 隠岐, 松
江, 三瓶山, 六日市

[備考] 胞子・無性芽培養(松江)

トサホラゴケモドキ *C. tosana* (Steph.) Steph.

[分布] 北海道～琉球, 東アジア, ハワイ

[県内分布] 低地～山地の湿土上, 隠岐, 松江, 千丈
渓, 六日市

[備考] 胞子・無性芽培養(松江), 百科事典(下
p182)

フソウツキヌキゴケ *C. japonica* Steph.

=ツクシホラゴケモドキ *C. tsukushiensis* Amakawa

[分布] 北海道～九州(固有種)

[県内分布] 山地, 岩上, 腐植土上, 稀, 奥出雲, 千
丈渓, 六日市

[備考] 眼点状の油体をもつ

アオホラゴケモドキ属 (1/2種)

ヒロハホラゴケモドキ *Metacalypogeia cordifolia*
(Steph.) Inoue

[分布] 北海道～九州, 東アジア

[県内分布] 林内の湿土上, 極稀, 隠岐, 鬼の舌震(井上)

ヤバネゴケ科 (6/9属)

ヤバネゴケ属 (2/9種)

オタルヤバネゴケ *Cephalozia otaruensis* Steph.

[分布] 北海道～琉球, 小笠原, 台湾, 樺太

[県内分布] 山地から低地の地上, 枯木上など, 普通,
隠岐, 千丈渓

[備考] 雌雄異株, 百科事典(上 p329)

カタヤバネゴケ *C. catenulata* (Huebener) Lindb.
subsp. *nipponica* (S. Hatt.) Inoue ; *C. nipponica* S.
Hatt.

[分布] 本州～九州, インドシナ

[県内分布] 落葉林内, 枯木上, 稀, 隠岐, 船通山,
千丈渓, 六日市

フクロヤバネゴケ属 (1/2種)

フクロヤバネゴケ *Nowellia curvifolia* (Dicks.) Mitt.

[分布] 北海道～琉球, 北半球

[県内分布] 山地林内腐木上, やや稀, 鰐淵寺, 断魚
渓, 千丈渓

[備考] 百科事典(下 p437-438)

ツツバナゴケ属 (1/1種)

ツツバナゴケ *Alobiellopsis parvifolia* (Steph.) R. M.
Schust.

[分布] 本州～琉球, 中国

[県内分布] 山地, 土上, 稀, 松江, 浜田, 千丈渓

エゾヒメヤバネゴケ属 (1/2種)

エゾヒメヤバネゴケ *Hygrobiella laxifolia* (Hook.)
Spruce

[分布] 北海道～九州、北半球冷温帶

[県内分布] おもにブナ帯以上の渓谷の岩上、奥出雲
クチキゴケ属 (2/3種)

クチキゴケ *Odontoschisma denudatum* (Mart.)
Dumort.

[分布] 北海道～九州、北半球

[県内分布] 山地林内の腐木上、やや稀。隠岐、松江、
鰐淵寺、鬼の舌震、千丈渓、六日市

イボクチキゴケ *O. grosseverrucosum* Steph.

[分布] 本州～九州

[県内分布] 落葉樹林帯の腐木上、稀。隠岐、断魚渓、
千丈渓

シフネルゴケ属 (1/1種)

シフネルゴケ *Schiffneria hyalina* Steph.

[分布] 本州～琉球、東アジア～東南アジア、ヒマラ
ヤ

[県内分布] 広葉樹林内の腐木上、極めて稀。隠岐(井
上, 1974)

コヤバネゴケ科 (2/2属)

コヤバネゴケ属 (3/10種)

コヤバネゴケ *Cephalozia microphylla* (Steph.)
Douin (Fig.2)

[分布] 北海道～九州、東アジア、タイ、ヒマラヤ

[県内分布] 低地の土崖に小さい濃緑色のヨロニー。
稀。松江。

[備考] 茎の長さが 1-3mm。葉身細胞は厚壁。雌雄
同株。胞子・無性芽・葉再生培養 (松江)

オソレヤマヤバネゴケ *C. divaricata* (Sm.) Schiffn.

[分布] 北海道～本州、北半球、アフリカ、豪州など

[県内分布] 林内・林縁の湿岩上、稀少。隠岐

[備考] 高地産で雌雄異株とされている。隠岐諸島産

の植物はすべて sterile (不稔) で多少疑問が残る(井
上, 1985).

オソレヤマヤバネゴケ酷似種 *C. aff. divaricata* (Sm.)
Schiffn.

[県内分布] 松江

[備考] 平地産で雌雄同株。北川尚史博士の同定を受
けている。

ウニヤバネゴケ *C. spinicaulis* Douin (Fig.3)

[分布] 北海道～九州、東アジア、北米東南部

[県内分布] 六日市、柿木

[備考] 茎は葉を含めて幅約 0.1-0.2mm。茎の表面に
多細胞性の刺が密生し葉の背面に単細胞性の突起が

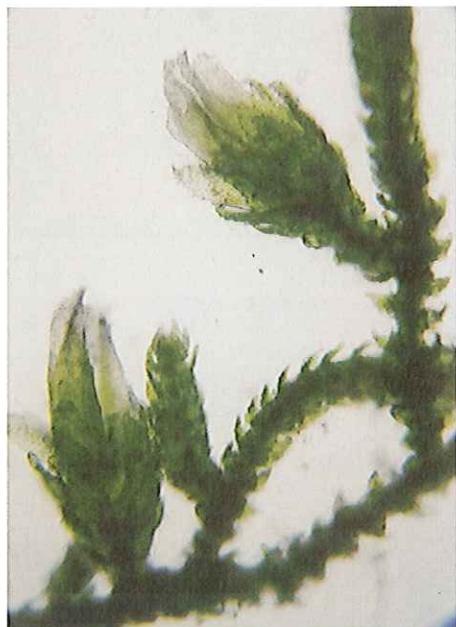


Fig.2 コヤバネゴケ 雌雄同株



Fig.3 ウニヤバネゴケの花被と苞葉



Fig.4 ウニヤバネゴケの造精器(球状)
と苞葉

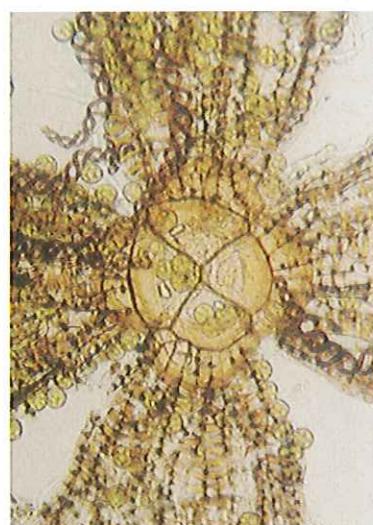


Fig.5 ウニヤバネゴケ 発開した蒴の
中心部

- ある。雌雄同株。稀少。(Fig.5: よれたひも状のものは弾糸、球状のものは胞子)
- ツクシヤバネゴケ属 (1/2種)
ツクシヤバネゴケ *Cylindrocolea recurvifolia* (Steph.) Inoue
[分布] 北海道～本州、朝鮮
[県内分布] 溪谷沿の岩上に団塊上になって生育。稀少。石見、匹見(畠山)
- ツボミゴケ科 (16属)
ツボミゴケ属 (11/37種)
ヒロハツボミゴケ *Jungermannia exsertifolia* Steph.
[分布] 北海道～九州、東アジア
[県内分布] 奥出雲(井上, 1973)
ツツソロイゴケ *J. subulata* A. Evans; *J. amakawana* Grolle
[分布] 北海道～九州、東アジア、ヒマラヤ、ハワイ
[県内分布] 落葉林内、倒木、岩上。稀。隠岐、船通山、三瓶山
タチツボミゴケ *J. erecta* (Amakawa) Amakawa
[分布] 近畿地方～九州
[県内分布] 常緑林内、流辺岩上。市木(尼川, 1950)
オオホウキゴケ *J. infusca* (Mitt.) Steph.
[分布] 本州～九州、東アジア
[県内分布] 低地の土上。普通。松江、千丈溪、六日市
[備考] 百科事典(上 p281)
ハネツボミゴケ *J. plagiochilacea* Grolle
[分布] 千葉県以西
[県内分布] 常緑林内、岩上。やや稀。松江、市木(尼川)
アカツボミゴケ *J. rubripunctata* (S. Hatt.) Amakawa
[分布] 本州～九州(固有種)
[県内分布] 平地、土崖。普通。松江
[備考] 百科事典(上 p19-20)
マイマイツボミゴケ *J. torticalyx* Steph.
[分布] 北海道～九州の低地
[県内分布] 松江
[備考] 胞子培養(松江産: 1960)
ツクシツボミゴケ *J. truncata* Nees; *J. tsukushiensis* (Amakawa). Amakawa
[分布] 本州～琉球、小笠原
[県内分布] 隠岐(井上, 1985)、松江、千丈溪(尼川)
キブリツボミゴケ *J. virgata* (Mitt.) Steph.
[分布] 北海道～九州、東南アジア
[県内分布] 山地、流辺岩上。来待
ホリカワツボミゴケ *J. horikawana* (Amakawa) Amakawa

- [分布] 本州～九州
[県内分布] 低地、湿土上。松江
カタツボミゴケ *J. kyushuensis* Amakawa
[分布] 九州、琉球
[県内分布] 松江
アカウロコゴケ属 (1/9種)
アカウロコゴケ *Nardia assamica* (Mitt.) Amakawa; *N. sieboldii* (Sande Lac.) Steph.
[分布] 北海道～九州、東アジア、カフカス
[県内分布] 隠岐、松江、石見中・西部
[備考] 百科辞典(上 p13-14)
アギウロコゴケ属 (1/1種)
アギウロコゴケ *Jamesoniella autumnalis* (DC.) Steph.
[分布] 北海道～九州、北半球
[県内分布] 山地、崖上、土上。やや稀。隠岐(下瀬)、大万木山(岡本, 1975)、松江、千丈溪、浜田。
[備考] 百科事典(上 p25-26).
- ミゾゴケ科 (3属)
ミゾゴケ属 (3/12種)
ヒレミゾゴケ *Marsupella alata* S. Hatt. & N. kitag.
[分布] 北海道～本州(長野県以北)
[県内分布] 断魚溪、千丈溪
タカネミゾゴケ *M. emarginata* (Ehrh.) Dumort. subsp. *tubulosa* (Steph.) N. Kitag.
[分布] 北海道～九州、樺太、東アジア
[県内分布] 鬼の舌震、断魚溪
[備考] 百科事典(下 p33)
ヒロハミゾゴケ *M. emarginata* var. *apertifolia* (Steph.) N. Kitag.
[分布] 北海道～本州
[県内分布] 高地の水辺。六日市(朝倉)
[備考] タカネミゾゴケの変種。
ホソミゾゴケ *M. pseudofunckii* S. Hatt.
[分布] 本州～九州
[県内分布] 溪谷の岩壁に生える。千丈溪
[備考] 近畿地方では表日本海側に多い(児玉, 1971).
- ヒシャクゴケ科 (2属)
シロコオイゴケ属 (2/7種)
ノコギリコオイゴケ *Diplophyllum serrulatum* (Mull. Frib.) Steph.
[分布] 本州～九州、東アジア
[県内分布] 低地、土手。隠岐、松江、鬼の舌震、千丈溪、六日市
[備考] 百科事典(下 p292)

ホソバコオイゴケ *D. taxifolium* (Wahlenb.) Dumort.

[分布] 北海道～九州, 横太, 朝鮮, シベリア, 歐州, 北米

[県内分布] 大万木山 (岡本, 1975)

[備考] 亜高山帯に普通。亜寒帯系の残存種とされている。

ヒシャクゴケ属 (4/26 種)

ウニバヒシャクゴケ *Scapania ciliata* Sande Lac.

[分布] 北海道～琉球, 東アジア, ヒマラヤ

[県内分布] 松江, 千丈渓, 六日市

[備考] 百科事典 (上 p206)

チャボヒシャクゴケ *S. stephanii* Muell. Frib.

[分布] 本州～琉球, 東アジア

[県内分布] 隠岐 (井上, 1985), 千丈渓, 六日市

[備考] 孢子培養 (松江)

オオヒシャクゴケ *Scapania ampliata* Steph.

[分布] 本州～九州, 朝鮮

[県内分布] 亜高山帯以上, 大万木山 (岡本, 1975)

コヒシャクゴケ *S. parvidens* Steph.

[分布] 北海道～九州

[県内分布] 鬼の舌震

ウロコゴケ科 (3/5 属)

ウロコゴケ属 (3/7 種)

ウロコゴケ *Heteroscyphus argutus* (Reinw., Blume & Nees.) Schiffn.

[分布] 本州～琉球, 小笠原, 東アジア～東南アジア

[県内分布] 千丈渓, 六日市

オオウロコゴケ *H. coalitus* (Hook.) Schiffn. ; *H. bescherellei* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 北海道～琉球, 東アジア～豪州

[県内分布] 県下の低地で普通, 隠岐, 千丈渓, 高島

[備考] 孢子培養 (安来), 百科事典 (上 p249)

ツクシウロコゴケ *H. planus* (Mitt.) Schiffn.

[分布] 全国

[県内分布] 県内普通, 隠岐

*オオウロコゴケ属 3 種の胞子発芽 (下瀬, 1968)

フジウロコゴケ属 (3/9 種)

フジウロコゴケ *Chiloscyphus polyanthos* (L.) Corda

[分布] 北海道～九州

[県内分布] 落葉樹林内で多湿地, 普通, 隠岐, 松江, 金城

[備考] 百科事典 (下 p439)

トサカゴケ *C. profundus* (Nees) J. J. Engel & R. M. Schust. ; *Lophocolea heterophylla* (Schrad.) Dumort.

[分布] 北海道～九州, 北半球の冷温帶

[県内分布] 隠岐, 三瓶山, 千丈渓, 六日市

ヒメトサカゴケ *C. minor* (Nees) J. J. Engel & R. M.

Schust. ; *Lophocolea minor* Nees

[分布] 北海道～琉球, 小笠原, 北半球の冷温帶

[県内分布] 樹幹, 普通, 隠岐

[備考] 葉緑に 2 細胞の無性芽が無数に発生, 百科事典 (下 p400)

ハネゴケ科 (2/4 属)

ハネゴケ属 (5/25 種)

コハネゴケ *Plagiochila sciophila* Nees ex Lindenb. ; *P. acanthophylla* Gottsche. subsp. *japonica* (Sande Lac.) Inoue

[分布] 本州～琉球, 小笠原, 東アジア

[県内分布] 隠岐, 松江, 鰐淵寺, 三瓶山, 千丈渓, 六日市など県内各地

[備考] 葉が基部から脱落しやすい, 落葉からの再生, 百科事典 (上 p619)

マルバハネゴケ *P. ovalifolia* Mitt.

[分布] 北海道～琉球, 東アジア

[県内分布] 渓谷の岩上や崖, 普通, 隠岐, 千丈渓, 六日市

[備考] 隠岐島前ではコハネゴケ, マルバハネゴケの 2 種は河川, 谷川沿いに普通にみられる (井上, 1985).

ミヨシハネゴケ *P. ovalifoli var. miyoshiana* (Steph.) S. Hatt.

[県内分布] 松江, 鰐淵寺, 立久恵, 八重瀧など

[備考] マルバハネゴケの変種, 葉が長楕円形で, 腹縁基部が弓形にならない.

ヒメハネゴケ *P. satoi* S. Hatt.

[分布] 北海道～四国

[県内分布] 出雲 (井上, 1974), 大万木山 (岡本, 1975)

タカネハネゴケ *P. semidecurrens* (Lehm. & Lindenb.) Lindenb.

[分布] 本州 (埼玉県以南) ～琉球, 台湾, ヒマラヤ

[県内分布] 落葉樹林帶の岩上や樹幹, 大万木山 (岡本, 1975)

ハイハネゴケ属 (1/1 種)

ハイハネゴケ *Pedinophyllum truncatum* (Steph.) Inoue

[分布] 北海道～九州, 東アジア, 横太

[県内分布] 山地の岩上や朽木上をはう, 隠岐, 奥出雲 (井上, 1974)

ケビラゴケ科 (1/1 種)

ケビラゴケ属 (6/23 種)

コウヤケビラゴケ *Radula kojana* Steph.

[分布] 本州 (秋田県以南) ～琉球, 小笠原, 東アジ

ア、フィリピン

[県内分布] 隠岐(井上, 1985), 松江, 鰐淵寺, 千丈渓, 六日市

[備考] 葉縁に無性芽多数

ミヤコノケビラゴケ *R. tokiensis* Steph.

[分布] 本州以西の低地

[県内分布] 谷川沿い岩上, 松江

[備考] 雌雄同株

クビレケビラゴケ *R. constricta* Steph.

[分布] 北海道~九州, 小笠原, 東アジア~ヒマラヤ

[県内分布] 隠岐, 松江, 鰐淵寺, 断魚渓, 千丈渓, 六日市



Fig.6 クビレケビラゴケ。葉縁についているのは無性芽

ヤマトケビラゴケ *R. japonica* Gottsche ex Steph.

[分布] 北海道~九州, 東アジア

[県内分布] 隠岐, 松江, 大万木山, 立久恵, 三瓶山, 六日市

[備考] 百科事典(下 p737)

ヒメケビラゴケ *R. oyamensis* Steph.

[分布] 本州(宮城県以南)~琉球, 東アジア

[県内分布] 常緑樹林の樹幹, 松江, 大万木山, 千丈渓

オオケビラゴケ *R. perrottetii* Gottsche ex Steph.; *R. valida* Steph.

[分布] 本州(千葉県以西)~琉球, 東アジア~東南アジア

[県内分布] 隠岐(井上, 1985), 鰐淵寺, 大万木山(岡本, 1975), 三瓶山

[備考] 百科事典(上 p255)

サワラゴケ科 (1/2 属)

イヌムクムクゴケ属 (1/1 種)

イヌムクムクゴケ *Trichocoleopsis sacculata* (Mitt.)

S. Okamura

[分布] 北海道~九州, 東アジア, インドシナ

[県内分布] 隠岐, 鬼の舌震, 龍頭滝, 六日市

クラマゴケモドキ科 (2/2 属)

ヂミカヤゴケ属 (1/1 種)

チヂミカヤゴケ *Macvicaria ulophylla* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 北海道~九州, 東アジア

[県内分布] 隠岐, 松江, 千丈渓, 久佐(金城)

[備考] 胞子嚢内で胞子が多細胞になる。百科事典(下 p89)



Fig.7 成熟した胞子体をつけたチヂミカヤゴケ

クラマゴケモドキ属 (7/15 種)

オオクラマゴケモドキ *Porella grandiloba* Lindb.

[分布] 北海道~九州, 樺太, 東アジア

[県内分布] 樹幹や湿岩上に生育。三瓶山

クラマゴケモドキ *P. perrottetiana* (Mont.) Trevis.

[分布] 本州~琉球, 東アジア~ヒマラヤ, インド

[県内分布] 隠岐, 鰐淵寺, 千丈渓

ヒメクラマゴケモドキ *P. caespitans* (Steph.) S. Hatt. var. *cordifolia* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 北海道~琉球, 東アジア~ヒマラヤ

[県内分布] 隠岐, 大万木山, 鰐淵寺, 立久恵, 千丈渓

カギクラマゴケモドキ *P. caespitans* var. *nipponica* S. Hatt.

[分布] 西日本

[県内分布] 千丈渓, 断魚渓

[備考] ヒメクラマゴケモドキの変種

ナガバクラマゴケモドキ *P. subobtusa* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 四国

[県内分布] 鰐淵寺

ニスピキカヤゴケ *P. vernicosa* Lindb.

[分布] 北海道～九州、シベリア、東アジア

[県内分布] 隠岐（井上, 1985）、大万木山（岡本, 1975）、立久恵、三瓶山

[備考] 葉面に緑褐色の金属光沢、百科事典（下 p259）

シゲリクラマゴケモドキ *P. densifolia* (Steph.) S. Hatt. var. *fallax* (C. Massal.) S. Hatt.

[分布] 本州（福島県以西）～九州、東アジア

[県内分布] 隠岐（大満寺山、井上）

ヤマトクラマゴケモドキ *P. japonica* (Sande Lac.) Mitt.

[分布] 本州（関東以南）～九州、小笠原、東アジア～東南アジア、ヒマラヤ

[県内分布] 隠岐、千丈渓

ホソクラマゴケモドキ *P. gracillima* Mitt.

[分布] 北海道～九州のブナ帯以上の石灰岩地

[県内分布] 鰐淵寺（岩上に着生、西田）

[備考] 検索表で分布は「ブナ帯以上の石灰岩地」となっているので課題種、雌花被をつけていた。

ケクラマゴケモドキ *P. fauriei* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 北海道、本州のブナ帯以上

[県内分布] 恐羅漢山（1346m）、広島との県境・ブナ帯

[備考] 本種は北海道、本州のブナ帯以上に生育し、特にブナの樹幹上によくみられ、大山でも知られている。中国地方では極めて稀な種で恐羅漢山が西限になる。この山が広島県境にあって、県内のブナ帯にも生育する可能性は高い。

マルバクラマゴケモドキ *P. obtusata* (Tayl.) Trevis. var. *macroloba* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 本州（近畿以西）、四国

[県内分布] 松江（城山の石垣に着生の記録あり）

[備考] 日本海型分布種

ヤスデゴケ科 (1/2 属)

ヤスデゴケ属 (6/48 種)

ヒラキバヤスデゴケ *Frullania monocera* (Tayl.) Tayl.; *F. hampeana* Nees

[分布] 本州（福島県以南）～九州、東アジア～豪州、太平洋諸島

[県内分布] 隠岐、千丈渓、松江

[備考] 孢子培養（1966）

アカヤスデゴケ *F. davurica* Hampe; *F. jackii* Gott.

subsp. *japonica* (Sande Lac.) Hatt.

[分布] 北海道～九州、東アジア

[県内分布] 隠岐、松江、立久恵

[備考] 百科事典（上 p24-25）

カラヤスデゴケ *F. muscicola* Steph.

[分布] 北海道～琉球、樺太、東アジア～ヒマラヤ

[県内分布] 隠岐、高島、松江

[備考] 孢子培養（1964）、百科事典（上 p417）

クロアオヤスデゴケ *F. pedicellata* Steph.

[分布] 北海道～九州、朝鮮

[県内分布] 隠岐、松江

[備考] 孢子培養（松江）

シダレヤスデゴケ *F. tamarisci* (L.) Dumort. subsp. *obscura* (Verd.) S. Hatt.

[分布] 北海道～琉球、小笠原、東アジア、シベリア

[県内分布] 隠岐、立久恵、三瓶山、千丈渓、浜原、六日市

ヒラヤスデゴケ（マエバラヤスデゴケ）*F. inflata* Gottsche; *F. mayebarae* S. Hatt.

[分布] 北海道～九州、東アジア、インド、北米、イタリア

[県内分布] 松江

[備考] 孢子培養・葉再生（松江産：1960）

ヒメウルシゴケ科 (1/1 属)

ヒメウルシゴケ属 (2/2 種)

ヒメウルシゴケ *Jubula japonica* Steph.

[分布] 北海道～琉球、小笠原、東アジア

[県内分布] 隠岐、立久恵峡

[備考] 孢子培養（1962）、百科事典（下 p398）

ジャバウルシゴケ *J. hutchinsiae* (Hook.) Dumort. subsp. *jvanica* (Steph.) Verd.

[分布] 本州～琉球

[県内分布] 鰐淵寺、六日市

[備考] ジャバウルシゴケとヒメウルシゴケの胞子発芽（1969）

クサリゴケ科 (7/25 属)

ケシゲリゴケ属 (1/2 種)

ケシゲリゴケ *Nipponolejeunea pilifera* (Steph.) S. Hatt.

[分布] 北海道～九州、東アジア

[県内分布] 鬼の舌震、隠岐

[備考] 孢子培養（鬼の舌震産）、百科事典（上 p540-541）

*ケシゲリゴケとタカネシゲリゴケ (*N. subalpina*) の胞子発芽研究（1969；1972）

フルノコゴケ属 (1/1 種)

フルノコゴケ *Trocholejeunea sandvicensis* (Gottsche)
Mizut.
[分布] 本州～琉球, 小笠原, 東アジア～東南アジア,
太平洋諸島
[県内分布] 隠岐, 松江, 船通山, 千丈溪, 高島
[備考] 百科事典(下 p463-464)
ミノリゴケ属 (1/1 種)
ヒメミノリゴケ *Acrolejeunea pusilla* (Steph.) Grolle
& Gradst.; *Ptychocoleus nipponicus* S. Hatt.
[分布] 本州～琉球, 小笠原
[県内分布] 稀, 隠岐, 浜田
シゲリゴケ属 (5/13 種)
シゲリゴケ *Cheilolejeunea imbricata* (Nees) S. Hatt.
[分布] 本州(宮城県以南)～琉球, 小笠原, インド
シナ～ニューギニア
[県内分布] 隠岐, 鰐淵寺, 鬼の舌震, 断魚溪, 高島,
匹見
ヤマトクサリゴケ *C. nipponica* (S. Hatt) S. Hatt.
[分布] 本州(茨城県以西)～琉球, 小笠原
[県内分布] 隠岐, 松江, 立久恵, 千丈溪
ツクシクサリゴケ *C. obtusilobula* (S. Hatt.) S. Hatt.
[分布] 宮崎
[県内分布] 稀, 隠岐(都万, 井上)
[備考] 井上(1985)によると上記シゲリゴケ属3種
は、隠岐島内では比較的少なく、各々1地点だけで
確認されている。
チャボクサリゴケ *C. obtusifolia* (Steph.) S. Hatt.
[分布] 全国
[県内分布] 千丈溪, 六日市
※マルバカギウロコゴケの胞子発芽(1964)
オンタケクサリゴケ *C. Khasiana* (Mitt.) N. Kitag.
; *C. ontakensis* (Steph.) S. Hatt.; *C. giraldiana* (C.
Massal) Mizut.
[分布] 北海道～琉球, 東アジア, フィリピン, ヒマ
ラヤ
[県内分布] 千丈溪
クサリゴケ属 (8/23 種)
コミミゴケ *Lejeunea compacta* (Steph.) Steph.
[分布] 北海道～琉球, 朝鮮
[県内分布] 千丈溪, 奥匹見, 浜田
[備考] 百科事典(上 p628). 奥匹見岐「カサゴケの場」
ヤマトコミミゴケ *L. japonica* Mitt.
[分布] 北海道～琉球, 小笠原, 朝鮮
[県内分布] 隠岐, 立久恵, 千丈溪, 断魚溪, 六日市
[備考] 百科事典(下 p737-738)
サワクサリゴケ *L. aquatica* Horik.
[分布] 静岡県以南～琉球, 台湾
[県内分布] 杯内湿岩上, 隠岐(西郷)

コクサリゴケ *L. ulicina* (Tayl.) Gottsche, Lindenb.
& Nees
[分布] 本州～琉球, 小笠原, 世界
[県内分布] 隠岐, 松江, 船通山, 千丈溪, 六日市
ヒメコミミゴケ *L. curviloba* Steph.
[分布] 神奈川県以西
[県内分布] 立久恵, 千丈溪
[備考] 日本特産種
モエギコミミゴケ *L. pallide-virens* S. Hatt.
[分布] 静岡県以西
[県内分布] 隠岐(布施)
カマハコミミゴケ *L. discreta* Lindenb.
[分布] 本州～琉球, 小笠原, 東アジア
[県内分布] 隠岐, 浜田
イトコミミゴケ *L. parva* (S. Hatt.) Mizut.
[分布] 北海道～九州, 中国
[県内分布] 千丈溪
カビゴケ属 (1/4 種)
カビゴケ *Leptolejeunea elliptica* (Lehm. & Lindenb.)
Schiffn. (Fig.8)
[分布] 本州(福島県以南)～琉球, ほぼ世界の亜熱
帶, 熱帶
[県内分布] 沢沿いの山林内, 湧き水のある岩棚にホ
ソベリミズゴケの群落もみられる湿潤な大気環境,
六日市
[備考] 絶滅危惧種Ⅰ類. カビゴケの着生は低木の枝
や葉面, ササの稈, シダ類のコケシノブ1種の葉面
などにみられた. 道路拡張のため生育地の崖地が大
きく削り採られてしまっている. 中国道のトンネル
工事などの影響により水脈の変化もあって周辺の環
境も著しく変化して生存が危ぶまれている. 隣の山
口県には比較的多くの生育地が知られている(山口
県立山口博物館編, 1982).

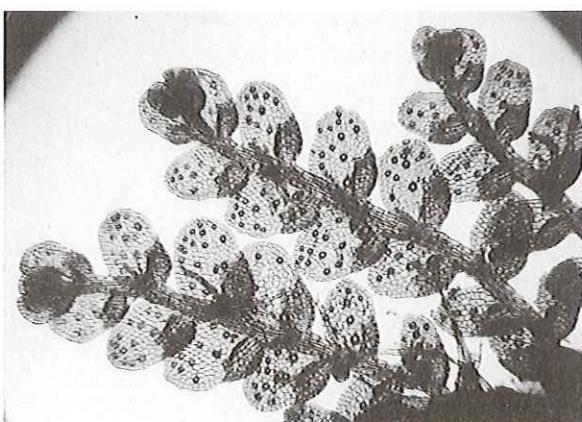


Fig.8 カビゴケ. 葉面に油体が充満した細胞が散在

ヒメクサリゴケ属 (8/49 種)
ミヤジマヨウジョウゴケ *Cololejeunea planissima*

(Mitt.) Abeyw.

[分布] 本州（静岡県以西）～琉球、小笠原、東アジア、ボルネオ、インドなど

[県内分布] 希少種、高島

[備考] 親植物上で発育した原糸体の報告（1978）や島根県百科事典（上 p8）の記述ではアオシマヨウジョウゴケとしている。その後、両種は同一種と見なされた。

ナガシタバヨウジョウゴケ *C. raduliloba* Steph.

[分布] 本州（関東地方以西）～琉球、東アジア～東南アジア

[県内分布] 稀少種、高島

[備考] 百科事典（下 p218）

※上記のヒメクサリゴケ属2種は今のところ県内では益田市高島のみにみられ、島の中腹の南に面した弥栄神社の境内（標高約70m）のヤブツバキの林縁の転石や朽木に着生していた。ミヤジマヨウジョウゴケには、花被をつけ茎葉体上で胞子発芽が進行した原糸体が多数みられた。（下瀬、1972; 1978）

ヤマトヨウジョウゴケ *C. japonica* (Schiffn.) S. Hatt.
ex Mizut.

[分布] 本州～九州

[県内分布] 隠岐、松江、高島

[備考] 葉面に多数の円盤状の無性芽をつける。百科事典（下 p739）

トサノケクサリゴケ *C. kodamae* Kamim.

[分布] 紀伊半島～九州

[県内分布] 稀少、鰐淵寺、千丈溪、六日市

ヒメクサリゴケ *C. longifolia* (Mii.) Benedix

[分布] 本州（宮城県以南）～琉球、中国、ヒマラヤ

[県内分布] 隠岐、松江、立久恵、千丈溪、断魚溪、六日市

[備考] 低地の渓谷の樹幹や岩上に生育、比較的多い。

イボヒメクサリゴケ *C. macounii* (Spruce ex Underw.) A. Evans

[分布] 北海道～琉球（奄美大島）、東アジア、北米西部

[県内分布] 稀少、千丈溪、断魚溪

ウニバヨウジョウゴケ *C. spinosa* (Horik.) Pande & Misra

[分布] 本州（福島県以南）～琉球

[県内分布] 稀少、鰐淵寺、千丈溪、六日市

ヤマナカヨウジョウゴケ *C. ornata* A. Evans

[分布] 本州～琉球

[県内分布] 立久恵

[備考] 胞子発芽（1963）

コマチゴケ目 CAIOBRYALES

コマチゴケ科 (1属)

コマチゴケ属 (1/2種)

コマチゴケ *Haplomitrium mnioides* (Lindb.) R. M. Schust. (Fig.9)

[分布] 本州～琉球、東アジア

[県内分布] 松江、鰐淵寺、八重瀧、金城、六日市

[備考] コマチゴケの名は茎葉体の姿が美しいことから、幾度か胞子培養を試み、原糸体から茎葉体の成長を観ることができた。胞子・葉再生培養（六日市）。

百科事典（上 p626）

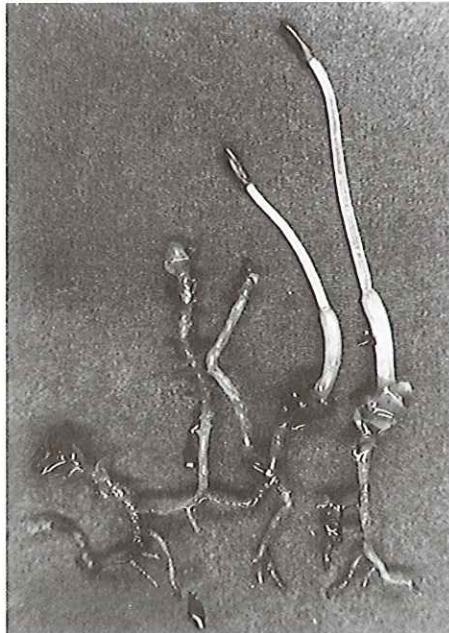


Fig.9 コマチゴケ、雌株

フタマタゴケ目 ZGERIALES

ウロコゼニゴケ科 (1属)

ウロコゼニゴケ属 (1/3種)

ウロコゼニゴケ *Fossombronia foveolata* Lindb. var. *cristula* (Austin) R. M. Schust.

[分布] 北海道～琉球、東アジア～東南アジア、北米

[県内分布] 松江

[備考] 生殖器官が葉上に裸出する。百科事典（上 p215）

ミズゼニゴケ科 (1属)

ミズゼニゴケ属 (1/3種)

ホソバミズゼニゴケ *Pellia endiviifolia* (Dicks.) Dumort. (Fig.10)

[分布] 北海道～琉球、北半球

[県内分布] 県内各地湿地に多い、隠岐、松江、三瓶山

[備考] 胞子培養（松江産）。百科事典（下 p501）

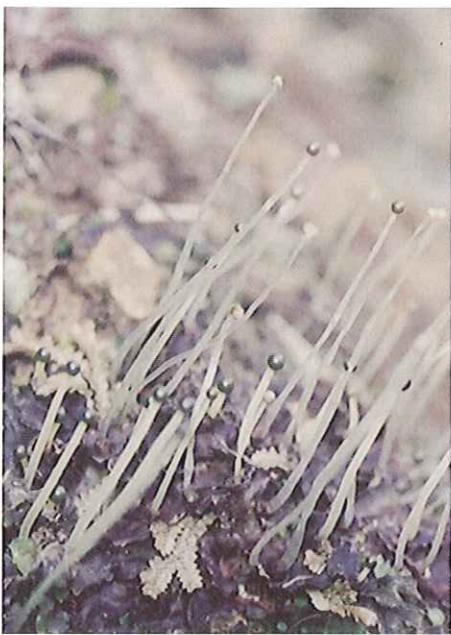


Fig.10 ホソバミズゼニゴケ. 胞子体

マキノゴケ科 (1 属)

マキノゴケ属 (1/1 種)

マキノゴケ *Makinoa crispata* (Steph.) Miyake
(Fig.11)

[分布] 北海道～琉球、東アジア～東南アジア

[県内分布] 隠岐、県内各地普通

[備考] 百科事典 (下 p522)

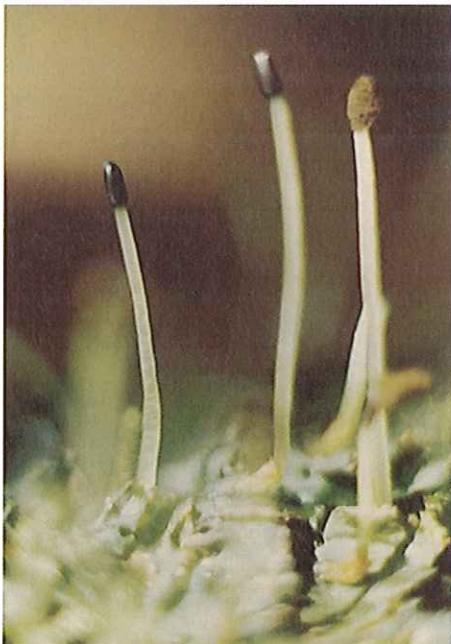


Fig.11 マキノゴケ. 胞子体

クモノスゴケ科 (3 属)

クモノスゴケ属 (2/4 種)

クモノスゴケ *Pallavicinia subciliata* (Austin) Steph.
; *P. longispina* Steph.

[分布] 本州～琉球、東アジア

[県内分布] 隠岐、松江、安来、千丈渓、県内各地

[備考] 百科事典 (上 p517)

ヤハズゴケ *P. lyellii* (Hook.) Carruth.

[分布] 関東地方以西、稀産

[県内分布] 隠岐 (都万)

ウスバゼニゴケ科 (2 属)

ウスバゼニゴケ属 (1/1 種)

ウスバゼニゴケ *Blasia pusilla* L.

[分布] 北海道～九州、北半球の温帶

[県内分布] 隠岐、金城、松江

[備考] 百科事典 (上 p200)

シャクシゴケ属 (1/1 種)

シャクシゴケ *Cavicularia densa* Steph. (Fig.12)

[分布] 北海道～九州

[県内分布] 鰐淵寺、鬼の舌震、出雲市



Fig.12 シャクシゴケ

スジゴケ科 (3 属)

ミドリゼニゴケ属 (2/5 種)

ミドリゼニゴケ *Aneura pinguis* (L.) Dumort.

[分布] 北海道～琉球、世界の温帶

[県内分布] 隠岐、六日市

ミズゼニゴケモドキ *A. maxima* (Schiffn) Steph.

[分布] 本州～九州

[県内分布] 隠岐 (井上, 1985)

スジゴケ属 (4/21 種)

ナミガタスジゴケ *Riccardia chamedryfolia* (With.) Grolle

[分布] 北海道～九州、北半球

[県内分布] 船通山

ナガサキテングサゴケ *R. nagasakiensis* (Steph.) S. Hatt. = *R. jackii* Schiffn

[分布] 本州 (愛知県以西) ～琉球、小笠原

[県内分布] 隠岐 (井上, 1985)

モミジスジゴケ *R. palmata* (Hedw.) Carruth.

[分布] 北海道～九州、北半球の冷温帶

[県内分布] 隠岐（井上, 1985）

クシノハスジゴケ *R. multifida* (L.) Gray subsp. *decrescens* (Steph.) Furuki

[分布] 北海道～九州、東アジア～ヒマラヤ

[県内分布] 六日市

[備考] 百科事典（上 p504）

フタマタゴケ科 (2種)

フタマタゴケ属 (3/10種)

ヤマトフタマタゴケ *Metzgeria lindbergii* Schiffn.

; *M. conjugata* Lindb. subsp. *japonica* (S. Hatt.) Kuwash.

[分布] 北海道～琉球、東アジア～東南アジア、ヒマラヤなど

[県内分布] 隠岐、松江、高島、六日市

[備考] 百科事典（下 p738）

ミヤマフタマタゴケ *M. furcata* (L.) Dumort.

[分布] 本州～琉球、世界

[県内分布] 大万木山（岡本, 1975）

コモチフタマタゴケ *M. temperata* Kuwash.

[分布] 本州～琉球、北・中米、欧州

[県内分布] 溪流沿いの樹木の枝に着生。高湿度環境下で生育。隠岐、八雲、六日市

ゼニゴケ目 MARCHANTIIDAE

ミカヅキゼニゴケ科 (1属)

ミカヅキゼニゴケ属 (1/1種)

ミカヅキゼニゴケ *Lunularia cruciata* (L.) Dumort. Ex Lindb.

[分布] 本州～九州、東アジア、豪、欧、北米など

[県内分布] 松江

[備考] 地中海沿岸原産の帰化種。三日月形の無性芽器があり、ゼニゴケに似た鼓形の無性芽をつける。雌雄異株で、松江で見る株は、雄株でジャゴケに似た無柄で盤状に盛り上がった雄器をつける。雄器の周辺は鋸歯のある低い薄板で取り囲まれている。

ジャゴケ科 (1属)

ジャゴケ属 (2/2種)

ジャゴケ *Conocephalum conicum* (L.) Dumort.

[分布] 北海道～琉球、北半球

[県内分布] 県内各地、普通

[備考] 百科事典（上 p823）

ヒメジャゴケ *C. japonicum* (Thunb.) Grolle. (Fig.13)

[分布] 全国

[県内分布] 松江、各地普通

[備考] 日本産のコケの中で最初に学名がついた種。

百科事典（下 p399）。雌雄異株

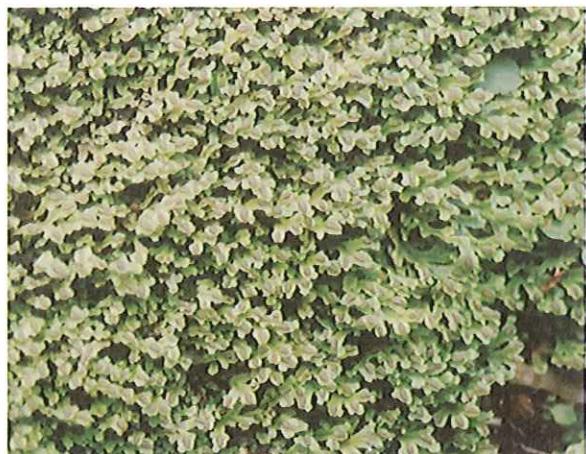


Fig.13 ヒメジャゴケ。雄株(雄器株)

アズマゼニゴケ科 (2属)

ケゼニゴケ属 (1/1種)

ケゼニゴケ (オオケゼニゴケ) *Dumontiera hirsuta* (Sw.) Nees (Fig.14)

[分布] 北海道～琉球、小笠原、世界

[県内分布] 隠岐、六日市、県内各地普通

[備考] 百科事典（上 p541）

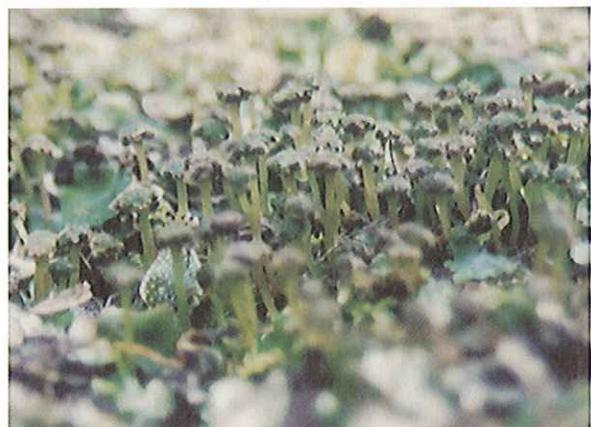


Fig.14 ケゼニゴケ

アズマゼニゴケ属 (1/1種)

アズマゼニゴケ *Wiesnerella denudata* (Mitt.) Steph.

[分布] 本州～琉球、東アジア～東南アジア、ヒマラヤ、ハワイ

[県内分布] 浜田、鰐淵寺

ジンガサゴケ科 (4属)

ジンガサゴケ属 (1/1種)

ジンガサゴケ *Reboulia hemisphaerica* (L.) Radde subsp. *orientalis* R. M. Schust.

[分布] 北海道～琉球、小笠原、東アジア

[県内分布] 隠岐、松江、千丈溪、高島

[備考] 百科事典（上 p860）

ゼニゴケ科（2属）

ゼニゴケ属（3/4種）

ゼニゴケ *Marchantia polymorpha* L.

[分布] 北海道～九州、世界

[県内分布] 松江、東出雲、大東、六日市

[備考] 百科事典（上 p919）

フタバネゼニゴケ *M. paleacea* Bertol. subsp. *diptera*

(Nees & Mont.) Inoue (Fig.15)

[分布] 本州～琉球、小笠原、東アジア

[県内分布] 東出雲

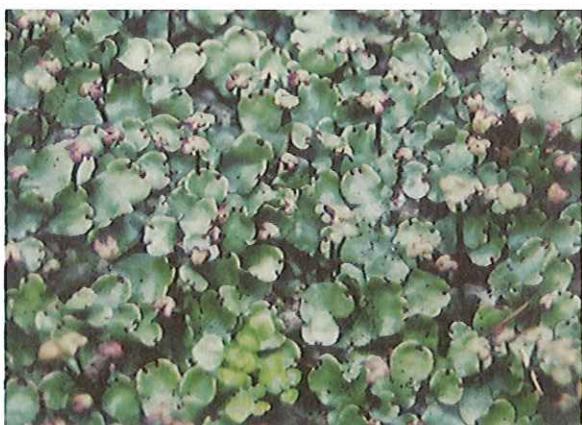


Fig.15 フタバネゼニゴケ

トサノゼニゴケ（トサゼニゴケ）*M. emarginata*

Reinw., Blume & Nees subsp. *tosana* (Steph.)

Bischl. M. Tosana Steph.

[分布] 本州（福島県以南）～琉球、東アジア～インドシナ

ヤワラゼニゴケ科（1属）

ヤワラゼニゴケ属（1/1種）

ヤワラゼニゴケ *Monosolenium tenerum* Griff. (Fig.16)

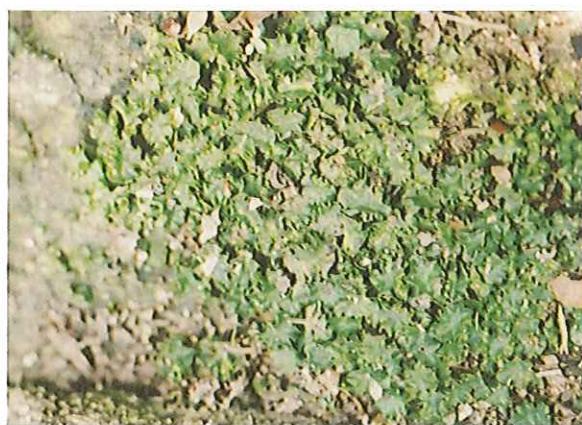


Fig.16 ヤワラゼニゴケ

[分布] 本州（関東地方以南）～琉球、東アジア、ヒマラヤ、ジャワ、インド、ハワイ

[県内分布] 松江

[備考] 畑や人家付近の富栄養な湿った土上に生育。松江での初見は昭和34年に人家の庭で採集。種名が不明のまま標本として収納していた。昭和36年に松江城山で胞子のうをつけた葉状体を採取。国、県、絶滅危惧I類指定。暖地性のコケで花卉などについて移入したものとみる。尼川博士の同定をうけ胞子培養をする。本種の胞子発芽については井上博士の論文がある。

ウキゴケ科（2属）

ウキゴケ属（5/8種）

ウキゴケ *Riccia fluitans* L.

[分布] 北海道～琉球、世界

[県内分布] 松江、金城、益田

[備考] 国、県、絶滅危惧I類。百科事典（上 p191）

ハタケゴケ *R. glauca* L.

[分布] 本州～琉球、世界

[県内分布] 松江

コハタケゴケ *R. huebeneriana* Lindenb.

[分布] 全国

[県内分布] 松江、八雲、金城

[備考] 水を抜いた水田に多く生えてくる。

ミドリハタケゴケ *R. sorocarpa* Bisch.

[分布] 本州～九州

[県内分布] 金城

カンハタケゴケ *R. nipponica* S. Hatt.

[分布] 本州（埼玉県以南）～九州

[県内分布] 六日市、松江、八雲、大東

[備考] 水を抜いた田圃などに多くみられる。

イチョウウキゴケ属（1/1種）

イチョウウキゴケ *Ricciocarpus natans* (L.) Corda

(Fig.17)

[分布] 全国、世界



Fig.17 イチョウウキゴケ。池や水田に浮かぶ

[分布] 北海道～琉球、小笠原、東アジア

[県内分布] 隠岐、松江、千丈溪、高島

[備考] 百科事典（上 p860）

ゼニゴケ科（2属）

ゼニゴケ属（3/4種）

ゼニゴケ *Marchantia polymorpha* L.

[分布] 北海道～九州、世界

[県内分布] 松江、東出雲、大東、六日市

[備考] 百科事典（上 p919）

フタバネゼニゴケ *M. paleacea* Bertol. subsp. *diptera*

(Nees & Mont.) Inoue (Fig.15)

[分布] 本州～琉球、小笠原、東アジア

[県内分布] 東出雲

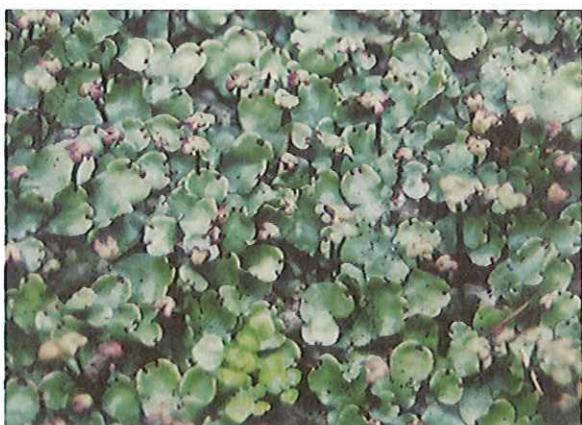


Fig.15 フタバネゼニゴケ

トサノゼニゴケ（トサゼニゴケ）*M. emarginata*

Reinw., Blume & Nees subsp. *tosana* (Steph.)

Bischl. M. Tosana Steph.

[分布] 本州（福島県以南）～琉球、東アジア～インドシナ

ヤワラゼニゴケ科（1属）

ヤワラゼニゴケ属（1/1種）

ヤワラゼニゴケ *Monosolenium tenerum* Griff. (Fig.16)

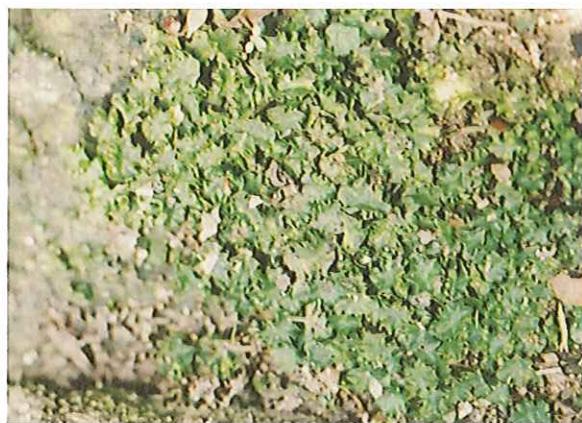


Fig.16 ヤワラゼニゴケ

[分布] 本州（関東地方以南）～琉球、東アジア、ヒマラヤ、ジャワ、インド、ハワイ

[県内分布] 松江

[備考] 畑や人家付近の富栄養な湿った土上に生育。松江での初見は昭和34年に人家の庭で採集。種名が不明のまま標本として収納していた。昭和36年に松江城山で胞子のうをつけた葉状体を採取。国、県、絶滅危惧I類指定。暖地性のコケで花卉などについて移入したものとみる。尼川博士の同定をうけ胞子培養をする。本種の胞子発芽については井上博士の論文がある。

ウキゴケ科（2属）

ウキゴケ属（5/8種）

ウキゴケ *Riccia fluitans* L.

[分布] 北海道～琉球、世界

[県内分布] 松江、金城、益田

[備考] 国、県、絶滅危惧I類。百科事典（上 p191）

ハタケゴケ *R. glauca* L.

[分布] 本州～琉球、世界

[県内分布] 松江

コハタケゴケ *R. huebeneriana* Lindenb.

[分布] 全国

[県内分布] 松江、八雲、金城

[備考] 水を抜いた水田に多く生えてくる。

ミドリハタケゴケ *R. sorocarpa* Bisch.

[分布] 本州～九州

[県内分布] 金城

カンハタケゴケ *R. nipponica* S. Hatt.

[分布] 本州（埼玉県以南）～九州

[県内分布] 六日市、松江、八雲、大東

[備考] 水を抜いた田圃などに多くみられる。

イチョウウキゴケ属（1/1種）

イチョウウキゴケ *Ricciocarpus natans* (L.) Corda

(Fig.17)

[分布] 全国、世界



Fig.17 イチョウウキゴケ。池や水田に浮かぶ

[県内分布] 六日市

[備考] 国：絶滅危惧 I 類（2007 年改訂、準）。県：準絶滅危惧。県内は多くないが随所の水田にみられる。葉状体の組織内に胞子体を形成し、葉状体の分裂とともに胞子は水中に散布される。胞子の成熟期は夏。百科事典（上 p134）

ツノゴケ目 ANTHOCEROTOPSIDA

ツノゴケ科（5 属）

ニワツノゴケ属（2/4 種）

ニワツノゴケ *Phaeoceros carolinianus* (Michx.) Prosk.

[分布] 北海道～琉球、小笠原、世界

[県内分布] 松江、高島など県内各地

[備考] 百科事典（下 p275）

ミヤケツノゴケ *P. laevis* (L.) Prosk.; *P. miyakeanus* (Schiffn.) S. Hatt.

[分布] 北海道～琉球、東アジア、フィリピン、北米東部、中米、欧州南部

[県内分布] 出雲

ナガサキツノゴケ属（2/5 種）

ナガサキツノゴケ *Anthoceros punctatus* L.

[分布] 本州～琉球、小笠原、北半球、アフリカ

[県内分布] 松江、三瓶山

ホウライツノゴケ *A. angustus* Steph.

[分布] 本州中部以南

[県内分布] 隠岐（壇鏡澗）

ミヤベツノゴケ属（1/2 種）

ミヤベツノゴケ *Folioceros fuciformis* (Mont.) D. C. Bharadwaj

[分布] 本州～琉球、小笠原

[県内分布] 出雲

アナシツノゴケ属（1/1 種）

アナシツノゴケ *Megaceros flagellaris* (Mitt.) Steph.

[分布] 本州～琉球、東アジア～メラネシア、ヒマラヤ、ハワイ

[県内分布] 隠岐、松江、六日市

ツノゴケモドキ科（1/1 属）

ツノゴケモドキ属（1/3 種）

ツノゴケモドキ *Notothylas orbicularis* (Schwein.) Sull.; *N. japonica* Horik.

[分布] 北海道～九州、アフリカ、欧州、北米

[県内分布] 松江、金城

[備考] 百科事典（下 p126）

引用文献

岩月善之助編（2001）日本野生植物－コケ－。355pp. 平凡社。

岩月善之助・水谷正美（1970）原色日本苔類図鑑。405pp. 保育社。

孫福 正・山田耕作（1964）伊勢神宮域産苔類図鑑。六月社。
堀川芳雄（1939）朝比奈監修日本隱花植物図鑑 苔類の部。783-871。

井上 浩（1985）隠岐諸島産苔類の植物地理学的研究。国立科学博物館専報 18:108-116。

岡本修治（1975）大万木山の苔類（その1）。三刀屋高校紀要 4:45-50。

井上 浩（1974）日本産苔類図鑑。189pp. 築地書館。

井上 浩（1976）続日本産苔類図鑑。193pp. 築地書館。

井上 浩（1969）こけ－その特徴と見分け方－

島根県・広島県（1966）西中国山地国定公園候補地－学術調査報告書：49-85

島根県（1972）島根県自然保護基本調査、中間報告書。益田市高島の苔類：調査者：西田雄行、下瀬 敏

尼川大録・下瀬 敏（1965）*Cololejeunea* 属数種の胞子および無性芽発芽。服部植物研究所報告 28:1-16。

尼川大録（1959）日本産ツボミゴケ科総説。1. 服部植物研究所報告 21:248-291. (英文)

尼川大録（1950）日本産ツボミゴケ科総説。2. 服部植物研究所報告 21:1-90. (英文)

尼川大録（1955）奥日向の苔類。服部植物研究所報告 13:52-62.

水谷正美（1961）日本産クサリゴケ科の再検討。服部植物研究所報告 24:115-302.

Mizutani, M. (1984) Notes on the Lejeuneaceae. 9. *Cololejeunea lonciloba* and its related species in japan. J. Hattori Bot. Lab. 57:427-442.

服部新佐（1970）アジア産クラマゴケモドキ（苔類）の研究。服部植物研究所報告 33:41-87. (英文)

北川尚史（1965）日本産 *Cephaloziellaceae*。植物分類地理 21:107-116.

古木達郎（1992）日本産コヤバネゴケ属について。日本苔類学会会報 5:155-158.

大阪市立自然科学博物館修蔵資料目録 第3, 4集。

児玉 務（1971）近畿地方の苔類（第1部）。116pp.

児玉 務（1972）近畿地方の苔類（第2部）。248pp.

島根県（2004）改訂しまねレッドデータブック～島根県の絶滅の恐れのある野生動植物～。島根県環境生活部景観自然課発行。415pp.

環境庁編（2000）改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物。レッドデータブック 植物 2（苔類）

岩月善之助他（2008）日本の絶滅危惧種。苔類レッドリスト。2007 年版。苔類研究 9:259-267.

尼川大録他（1975）福岡県植物誌。福岡県高等学校生物研究会。福岡県植物目録（コケ植物門、ツノゴケ綱、タイ綱）。248-253.

山口県立山口博物館（1982）山口県のコケとシダ

尼川大録・長田武正（1961-66）野河内渓谷の苔植物図説。生物福岡、第1-6号。福岡県高等学校生物部会。1:12-30, 2:28-48, 3:22-38, 4:32-44, 5:6-20, 6:1-9 (図説補遺)

水谷正美・服部新佐（1969）日本産タイ類ツノゴケ類チェックリスト。附：日本産タイ類ツノゴケ類の分類。蘚苔地衣雑報 5:33-43.

水谷正美（1984）同上 1983年版。日本蘚苔類学会会報 3:155-163.

水谷正美（1984）1968年と1983年版の対照表 3:177-181.

古木達郎・水谷正美（1994）1993年版 6:75-83.

古木達郎・水谷正美（1994）1983年版と1993年版の対照表 6:84-93.

古木達郎・水谷正美（1994）日本産タイ類及びツノゴケ類の分類体系 日本蘚苔類学会会報 6:103-108.

古木達郎・水谷正美（1995）1993年版・補遺 6:141-142.

古木達郎・水谷正美（2004）2004年版 8:296-316